

議題提案書

【 】協議事項

【○】報告事項

議題名：拡大版 SDGs アクションプラン 2018 と「NGO 連携無償」

【提案者氏名、所属】

氏名：稲場 雅紀

所属：市民ネットワーク for TICAD、(一社) SDGs 市民社会ネットワーク

【議題提案の背景】

2018 年 6 月 15 日に開催された SDGs 推進本部で採択された「拡大版 SDGs アクションプラン 2018」において、NGO/ODA 連携による SDGs 達成という趣旨を含む事業である NGO 連携無償資金協力、ジャパン・プラットフォームなどが「市民社会等との連携」を構成する事業として掲載された（18 ページ）。これは、2017 年 12 月 26 日に SDGs 推進本部で採択された「SDGs アクションプラン 2018」にこれらが含まれていなかったことと比較して、大きな前進であり、NGO として歓迎する。一方で、これら NGO の能力強化や持続可能性の強化に資するスキームである「NGO 活動環境整備支援事業」については、明記されていない。

【議題論点】（連携推進委員会で議論したい点）

本件について、NGO 連携無償等が新たな「拡大版 SDGs アクションプラン」に掲載されたことは、NGO 連携無償などの ODA/NGO 連携政策が、SDGs 達成に資する重要な政策であるということが認められたということで、高く評価されるべきことと考えており、これについて、日本政府に心より感謝するものである。一方で、これら NGO の能力を強化し、また、地方創生、女性・次世代の活躍および人間の安全保障、並びに「ソサエティ 5.0 の実現」という「日本型 SDGs モデル」の三本柱や、それを補完する様々な事業の実施により SDGs の実現に貢献している NGO の分野別・地域別ネットワークの持続可能性を担保している「NGO 活動環境整備支援事業」についても、今後の「アクションプラン」において、SDGs 達成に資する主要政策の一つとして明記していただきたいと考える。

これについて、日本の SDGs モデルを形成する主要政策文書である「拡大版 SDGs アクションプラン 2018」に NGO 連携無償等が導入されたこと等について、その背景や経緯、考え方等についてご報告いただけると幸いである。

【出席を希望する外務省部局または担当者】

（参考）外務省 組織案内 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/sosiki/>

国際協力局（地球規模課題審議官組織） 地球規模課題総括課
国際協力局 民間援助連携室

以上